

五輪塔

野山のあちこちに、結晶質石灰岩で出来た五輪石が点在しているのをよく見るが、もとは、下から方形、円形、三角形、半月形、宝珠形の五つの石が重ねられていた墓塔もしくは供養塔である。これは、地、水、火、風、空をあらわす。この地方では、加工しやすい結晶質石灰岩で作られた石造物が多いのも、帝釈など石灰岩地帯を擁しているからである。出来たときの白さと、時と共に消えていくこの石に、特別な思いが込められているのかも知れない。



森小林家旧墓の五輪塔



川鳥柳田廃寺跡の五輪石